

HONDA CD6/8/BB1/4/CF2 High-Performance Coil Direct Ignition Kit 取り付け説明書

商品内容	<input type="checkbox"/> 専用イグニッションコイル(TM03111-1) x 4	<input type="checkbox"/> コントロールユニット(CPT017) x 1	
	<input type="checkbox"/> 専用ディスビキャップ(HPD111) x 1	<input type="checkbox"/> FDI013/032専用信号ハーネス(HPD107-K) x 1	
	<input type="checkbox"/> 専用ローター(HPD110) x 1	<input type="checkbox"/> 専用コイルハーネス(FDI008H) x 1	<input type="checkbox"/> アースケーブル60cm x 1
	<input type="checkbox"/> スルーコネクタ(VH1028) x 1	<input type="checkbox"/> 電源ハーネス(DP024) x 1	<input type="checkbox"/> 6X12フランジボルト x 1
	<input type="checkbox"/> VSDアルミブラケット x 1	<input type="checkbox"/> L型アルミブラケット x 1	<input type="checkbox"/> 200mmタイラップ x 10
	<input type="checkbox"/> 両面テープ x 2		

重要注意事項：

ホンダ車のディストリビューターがリビルト品などに交換されている場合
本品のディストリビューターキャップの取り付け出来ない事があり
ますので、純正品番と同形状のディストリビューターキャップで有るか
必ず確認してください。

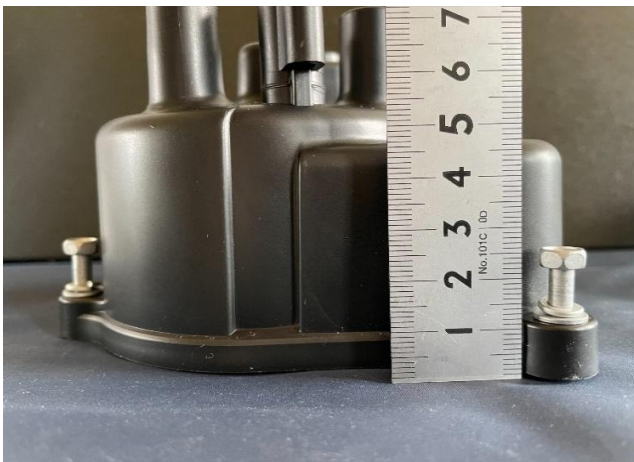
本製品をご開封後、必ず下記画像とご自身車両のディストリビューター
キャップの形状とねじ止め部分の寸法をご確認頂き本製品がご自分の
車両と適合する事が確定してから作業を開始してください。

万一、形状や寸法が異なる場合には現状のディストリビューターキャ
の画像をお送り頂きご相談ください。

交換可能な場合、製品の納期及び送料が掛かります。

いかなる場合でも取り付け後の交換には応じかねますので、特に
ご注意ください。

注意：形式や年式によりディストリビューターコネクタが2種類ある場合がありますので、
施工前に必ず本マニュアルと車両のコネクタが合っているか確認してください。



CL1・CD6/8・BB1/4・CF2用ディストリビューターキャップ
弊社品番 HPD111

1、整備書に従い既定の点火時期に調整をしてください。

No,2



2、ハイテンションコード・ディスビキャップ・ローター・リークカバーを外してください。
この時、ローター固定ねじが見える位置までクランキングしてから作業を行ってください。



シャフトがサビてローターが抜けなかったり、入らない場合には、紙やすり等で磨いてください。
絶対に無理に抜き差ししないでください。

3、専用ディスビローター（HPD110）を取り付けてください。

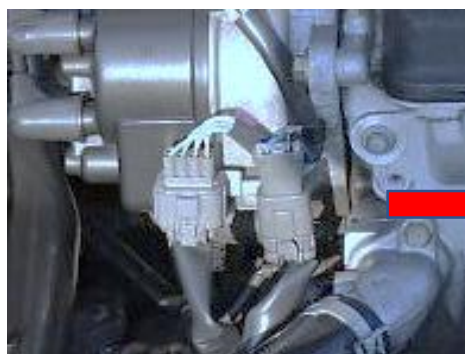


リークカバーは
取り付けしません。

T.M.WORKS



5、ディストリビューターの8Pコネクタと2Pコネクタを抜き、信号ハーネス (HPD107-K) を割り込ませてください。



6、イグニッションコイルを一旦仮に差し込み、コイルハーネス (FDI008H) を取り付けてからイグニッションコイルをしっかりと上から抑えスパークプラグに確実に入った事を確認してください。



イグニッションコイルがかなりきつめに入りますので、写真の様にイグニッションコイルの一番上の線とヘッドカバーの手前側が同じ高さになる位が目安です。

イグニッションコイルが指定位置に入っていないと、走行中イグニッションコイルが抜ける恐れがあり失火やエンジン停止などの原因となりますので確実に行ってください。



確実に入っている例

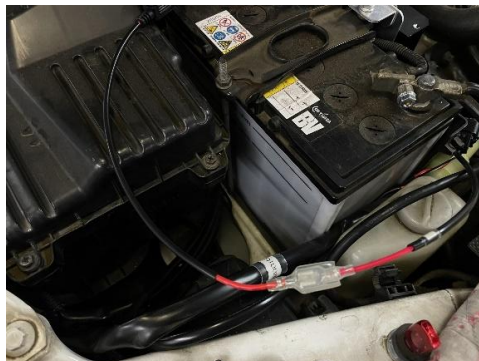
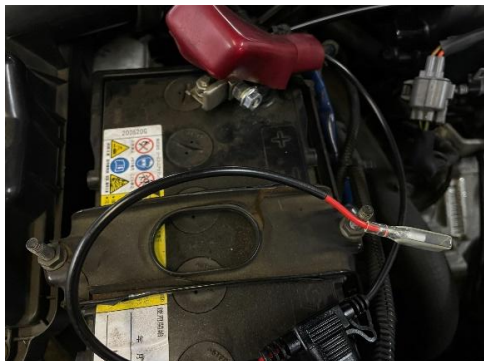


浮いている例

7、コイルハーネスのアース線と付属のアースケーブルの片側を写真位置に接続してください。



8、ヒューズ付き電源ハーネス (DP024) の赤線をバッテリーのプラスターミナルに接続し、コントロールユニットの平ギボシ端子と接続してください。



9、コイルハーネス、専用ディスプレイキャップからのハーネス、信号ハーネスをバッテリーの後ろからエアクリーナBOXとの間を通して写真の様に出してください。



10、コントロールユニット (CPT017) からのコネクターに各ハーネスを接続してください。



11、コントロールユニットからの黒線とアースケーブルの片側をバッテリーマイナスターミナルに共締めしてください。

No.5



12、付属のVSDブラケットとL型ブラケットを組み立て、コントロールユニットに付属の両面テープを**2枚重ね**にして貼り付けてください。



貼り付け位置はイメージです

コントロールユニットの固定位置を確認しブラケットにしっかりと貼り付けてください。



13、フェンダー固定M6ボルトを一旦外しコントロールユニット（CPT017）を写真の様に共締めしてください



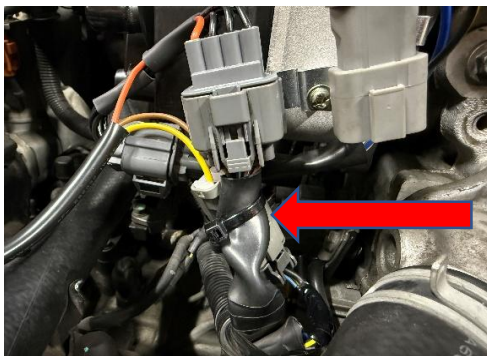
コントロールユニットへの排気マニホールドなどからの熱影響を受けにくくする為、必ずこの位置に固定してください。

T.M.WORKS

14、ハーネスはたるみの無いように付属のタイラップで固定してください。

No.6

コントロールユニットからのハーネスが、電動ファンに触らない様にバッテリー横のハーネスに必ず共締めしてください。




15、エンジンを始動し、異常のないことを確認して作業完了です。





コントロールユニットLED
キーON : 点滅
エンジン始動後 : 点灯

Special Thanks:ホンダツインカム杉並様


重要注意事項


 エンスト時などのエンジン再始動の場合には、ACCでは無く必ずキーOFFにしてから再始動してください。（これを守らないとエンジンが掛かりません）

 ピックアップに使用している磁石は、高熱に対応していないため排気マニホールドがディスビと隣接している車両は遮熱版を取り付けてください。

 ピックアップの反応が悪くなるとエンジン始動が困難となりますので特にご注意ください。

 ピックアップ用磁石は単品での販売がございますのでお問い合わせください。

 本製品取り付け時には必ずスパークプラグも新品に同時交換してください。

 取り外した部品は、ノーマルに戻す際に必要となりますので大切に保管してください。

T.M.WORKS